

三高同窓会 会報

会長挨拶



会長 西村 雄一郎
(高校21期卒)



新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、大変に深い衝撃を
受けた年でした。あの平成二
十三年三月十一日の東日本大
震災です。

おめでとうとは言えないお
正月と思っただ方もおいでし
ょう。

雲南会会員にも、遠く島根
を離れられ東北、関東にお住
まいの方が多数いらっしゃる



と思います。また、お身内が
いらしゃる方もおいでし
ょう。

被害に遭われた皆様、ご心
配なさいましたご家族の皆様
に、心からお見舞い申しあげ
ます。

午後二時四十六分に発生し
た大地震(マグニチュード9)、
それに続いた巨大津波、まも
なくして伝えられた福島第一
原発の機能喪失、暴走。
とても現実とは思えない悲
しくて残酷な、そして莫大な
災害でした。

その後の、被災者の皆さん
の避難生活と全国からの支援
の手が差し伸べられました。
そして、「絆」の大切さが
再認識されました。

思いますに、この「絆」は
血縁、地縁の範疇を遙かに超
えて、遠く離れた無縁の人で
も「困ったしを見とられんが
ね(ほっとけない)」の気持

ちではないでしょうか。

「そちゃんこと、あたえま
あだわね。」そげです。出雲
では当たり前のことです。

さて、そんな出雲育ちの雲
南の皆さん。そうは言え、普
段の同窓生同士のつきあいは
疎遠になっているのが事実で
はないでしょうか。

毎年雲南会総会を開催しま
すが、出席者が拡大をしてい
るとはいえません。卒業二十、
三十、四十周年の皆さんの招
待や、演劇部の公演などのイ
ベント企画の盛り込みなど工
夫を凝らしていますが、次回
の参加につながるの、が、
残念でなりません。

卒業二十周年などの皆さん
に集まってもらう機会にはなっ
ているとは思いますが、もう
一工夫して、たくさんの同窓
生に参加していただけるよう
にしていきたいと思えます。

たとえば、職域の同窓生サー
クルにもご参加いただき交流
の輪を広げることではない
でしょうか。

平成二十六年には、創立九
十周年を迎えます。同窓生の
絆をいよいよ深め、三刀屋高
校の発展を期する好機が到来
します。皆さまのご協力をお
願います。

最後に、雲南会東京支部総
会での梅澤昭夫前支部長の退
任のご挨拶に感激しましたの
で、一節を紹介させていただきます。
き、あいさついたします。
(新東京支部長には岩佐壮四
郎氏が就任されました。)

『今日東京支部総会に出席
してくれた、温泉の安部山、
杉山、三刀屋の西村、古田、
給下の泰、頓原の景山、彼ら
は、三刀屋高校で初めて出会
い、それから五十年以上つき
あっている同期の桜です。
彼らが、今の私の一部を作っ
てくれたと思うほどです。
そして、今も仲間とお互い
を励まし合いながら生きる、
これこそ母校を大事にする大
切な気持ちを作り出す源と思
います。』

追伸 雲南会頓原分校支部で
は、三刀屋高校分校跡にその
記念碑を建立され、記念祝宴
会を開催、親睦を深められま
した。雲南会の絆が広がりに
ました。心から、お祝いと感謝
を申し上げます。



ご挨拶



杉谷 長充久

平成二十四年は、昨年と同様、雪模様の幕開けとなりました。昨年は、三月の東日本大震災、九月の紀伊半島を中

心とした台風十二号などのかつてない大災害がもたらされた中で、私たちの心に「絆」ということを強く印象づけました。今年、順風の中で改めてこのことを確認できる年になればと思っています。

雲南会の皆さまには、日頃から母校に対し何かとお心にかけていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。三刀屋高校は、大正十三年に県内五番目の中学校として開校し、その後新制高校に、さらに普通科から総合学科への変遷を経て現在に至っております。その間、一万五千人余が卒業し、全国各地、各界で活躍しております。

今年度は県内外7カ所での雲南会支部総会に出席しました。十一月の東京支部総会で

は、家の都合で二年生のときに転校した方や掛合分校卒業の方も参加しておられ、実には和気藹々とした雰囲気での開催でした。また、同じく十一月に、頼原分校支部では思い出深いかつての学舎の跡に長年の悲願であった記念碑を建立され、除幕式に合わせて総会を開催され、四十人近い人が思い出話に花を咲かせておられました。

そのほかの支部もたいへん盛況で、母校への熱い思いをひしひしと感じさせられ、本当にありがたく思いました。会の中で必ず話題になるのは、当時習った先生のことです。「〇〇先生は、無駄話が多くて試験範囲に行かなくて、いつも『後は自分でやっておけ。』だった。」とか、「浄土っつぁんには、おこられた記憶はあまりないが、えっと叩かれた。」などの話をよく聞かされました。学校というのは、友人との間、師弟の間には強い心のつながりを作る場であることを痛感させられました。

本校は二年後に創立九十年を迎えます。生徒たちにはいつの時代でも、楽しい思い出とたくましく生きる力を持つて社会に出て行ってほしいと

思っています。さて、今年度の三刀屋高校の状況ですが、平素の学習活動のほか、生徒会活動、キャリア教育に関わる諸行事、部活動と、実によく頑張っていると思っております。

特に部活動は生徒にとっては大きな関心事です。夏以降については、吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで金賞受賞、野球部は県の秋季大会でベスト8など、それぞれによく頑張りました。特にソフトボール部は男女とも県大会を勝ち上がり春の全国選抜大会出場決定、演劇部、書道部、放送部も地区大会を勝ち上がり、今年の夏の全国高校総会文化祭出場を決めるなど、めざましい活躍を見せてくれました。

また演劇部は、古事記編纂千三百年を記念して今年の七月、十一月に島根県が開催する「神話博しまね」において、「高校生による文化発信ステージ」に出演することになって

います。島根の文化観光振興に寄与するとともに、三刀屋高校を大いにアピールしてくれるものと期待しています。今後ともいっそう活力のある三刀屋高校を目ざし、教職

員一丸となって力を注いでいこうと思っておりますので、皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

雲南会総会 懇親会 報告

雲南会総会実行委員会 三十二期代表 森山 博

平成二十三年度の三刀屋高等学校雲南会総会が、昨年十月九日に木次町チェリヴァホールにて盛大に開催されました。

当日は、来賓の島根県議会議員・福岡先生、速水雲南市長様をはじめ、支部の方々、多数の卒業生の皆様にご臨席いただきました。今回は第三十二期(昭和五十五年卒業)同窓生がお世話をさせていただきます。当日は至らない点が多々あったかとは思いますが、この紙面をお借りしお詫びするとともに、出席いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。総会では三階大会議室で行われ、高校第二十三期、三十三期、四十三期同窓生から特別会費の贈呈がありました。また、議事も滞りなく承認されました。その後、杉谷充久校長先生より母校の進路・就職状況や部活動での活躍の報告があ

り、後輩達の今後の活躍を期待させられました。最後に、現三刀屋高等学校校歌と旧制三刀屋中学校校歌を声高らかに全員で斉唱し、総会を閉じることになりました。

アトラクションは会場を二階ホールに移し行いました。前回は三刀屋高校演劇部の上演が好評を博したこともあり、今回も演劇部の皆さんによる上演を見ていただくことができました。

昨年に引き続き、在校生の活躍を間近に見る機会をぜひ取り入れたいと考え、顧問の亀尾佳宏先生の了解を得、演劇部の舞台鑑賞が実現しました。上演作品は、「ヤマトノオロチ外伝」というオリジナル作品で、この雲南市に縁の深い古代神話を題材としながらも、現代に生きる三刀屋高校生の手によって作り上げられたすばらしいものでした。

今回、全国レベルの演劇を初めて御覧になった方も多く、感動の声をたくさんいただきました。

近年全国大会に四回出場し三刀屋高校の名前を知らしめている演劇部は、昨秋行われた中国地区高校演劇発表会において最優秀賞を受賞しました。今年八月にある全国高校総合文化祭への出演が決まり、現在部員一同演技に一層磨きがかかるといわれています。全国的に活躍を期待しています。

懇親会は再び、三階大会議室に会場を移し、同期の同窓生が接待役をさせていただきました。会場が一杯になるほどの出席者で、熱気にあふれ、大いに盛り上がった懇親会となりました。

卒業三十年で特別会費を納めた翌年には、雲南会総会のお世話を引き受ける実行委員会形式となって今回が十一回目となります。これまで実行委員をされた先輩方はこれを機に、母校や同窓生との絆を再確認しておられます。私達ふるさとに残った者も、遠く各地で活躍されている方も、各人の高校時代の楽しい思い出が心の支えとなり、これか

らの人生の大きな糧となることとでしょう。

最後になりましたが、総会を開催するにあたり、西村雄一郎会長様、懇親会でご配慮とご指導をいただいた木次支部の先輩方をはじめ、ご尽力をいただきました皆様にご心から感謝申し上げます。三刀屋高等学校と雲南会の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

同窓会だより

卒業四十周年記念同窓会

第二十三期卒

都 間 正 隆

残暑厳しい九月十八日、私たち三刀屋高校第二十三期卒業生は、四十周年記念同窓会を木次町チェリヴァホールにて盛大に開催致しました。

当日は、県内外から八十八名の同窓生が出席し、恩師の鏗木篤先生・石倉國男先生・山本昭親先生にもご出席いただきました。

校歌斉唱、物故者への黙禱 鏗木先生の瑞宝章受章の披露と記念品の贈呈等、和やかな

中にも厳粛な開会となりました。

その後、同窓生の松島周二君が代表を務める「掛合太鼓」二十名による勇壮な演奏のアトラクションがあり、会場は大いに盛り上がりました。

還暦を前に、体型や容姿はそれなりに皆変わりましたが気持ち直ぐに高校時代にタイムスリップし、話は尽きず、楽しい時間を過ごしました。そして夜遅くまで旧交を温めました。

母校はいつまで経っても、懐かしき大切な場所です。これからの三刀屋高校のますますのご発展を心より祈願しております。

卒業三十周年記念同窓会

第三十三期卒

古 林 裕 治

平成二十三年、私達は二度と忘れることが出来ない東日本大震災が発生し未曾有の甚大な被害をもたらした多くの犠牲者が出たことに大変心を痛めました。

このような年に私達第三十三期生（昭和五十六年卒）は卒業三十周年記念同窓会を三刀屋町の三刀屋交流センター

にて開催をしました。

当日は、恩師の吾郷常男先生と錦織直行先生をお招きし県内外から九十名の同窓生に出席いただきました。受付開始時刻になると続々と来場し久しぶりの再会となり、中には卒業以来の方など懐かしい顔が見られました。始めに記念撮影をし開会しました。校歌斉唱、物故者への黙禱をし開宴に入り懐かしい話や近況報告など話が弾み、企画委員が高校時代のスライドを映すと一層声が大きくなり、また、お楽しみ抽選会をするなど楽しい時間を過ごすことができました。閉会時間が近づくと多くの参加者から「お疲れ様」「楽しかったよ」と労いの言葉を掛けていただき大変有難く、実行委員の皆様のご尽力に御礼を申し上げます。

終わりに、我が母校三刀屋高等学校の今後益々のご活躍と雲南会のご発展を心から祈念申し上げます。

最後に、我が母校三刀屋高等学校の今後益々のご活躍と雲南会のご発展を心から祈念申し上げます。

最後に、我が母校三刀屋高等学校の今後益々のご活躍と雲南会のご発展を心から祈念申し上げます。

最後に、我が母校三刀屋高等学校の今後益々のご活躍と雲南会のご発展を心から祈念申し上げます。

昨年八月十三日に木次町チェリヴァホールで、三刀屋高校

卒業二十周年記念同窓会

第四十三期卒

星 野 寿 幸

昨年八月十三日に木次町チェリヴァホールで、三刀屋高校

普通科第四十三期卒業生の同窓会を卒業生百名と恩師の先生四名の出席のもとに開催しました。

記念撮影をした後は、高校時代の懐かし話や近況報告などをしながら楽しい時間を過ごしました。雲南市の特産品が貰えるビンゴゲームを行ったり、残念ながら今回の同窓会に参加できなかった恩師の先生からのビデオレターを見たりしました。二次会にも九十名以上が参加し、大変な盛り上がりでした。

このような楽しい同窓会ができたのも、何度も打ち合わせを行い労を惜しまずに協力してくれた幹事の皆さんのおかげです。本当に、ありがとうございます。

なお、同窓会にあわせて八十名の協力により特別会費が集まり、雲南会総会において、西村雄一郎会長様にお渡しすることができました。

最後に、我が母校三刀屋高等学校の今後益々のご活躍と雲南会のご発展を心から祈念申し上げます。



進路指導室だより

進路指導部長

手 銭 隆 志

雲南会の皆様におかれましてはますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。また平素は本校の教育に対して格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、総合学科に改編されて八期目の一年生を迎え、今年度も一年次から産業社会と人間、総合的な学習の時間を中心にキャリア教育を進めています。職業人講演会やインターシップ(三日間)では多くの近隣地域の方や同窓生の方に大変お世話になりました。また二年生の東京研修旅行におきましてはイブニングセミナーとして本校四十期卒業生佐藤一美氏(株式会社ベネッセコーポレーション)大学事業部事業推進課)に、講演をお願いしました。佐藤氏のご自身の経験を踏まえ、「今の自分」を理解すること、将来「なりたい自分」になるためにいかにどうすべきか、どうすれば「もっといい自分」に出会えるのか、といったこ

とを熱く語っていただきました。生徒は社会の第一線で活躍されている先輩の話に大きな刺激を受けたようです。この場を借りて重ねてお礼申し上げます。

昨年三月には五期生百八十九名が卒業し、それぞれの進路に進んでいきました。進路先は国公立大学に延べ五十一名合格し、一昨年に比べて難関大学は少なかつたものの、九州大学、広島大学といった大学に多数合格しました。私立大学は関東、関西の有名私大をはじめ、難関大学にも合格し、公立私立の短期大学、各種専門学校、就職とそれぞれの目指す道に進んでいきました。ほとんどの生徒が部活動と学習の両立に苦勞しながらも一年次からこつこつと努力を重ねて実力をつけて合格を勝ち取ってくれました。また医療系の専門学校をはじめとした職業に直結した進学の道を選ぶ生徒も多く、キャリア教育の重要性を改めて感じているところです。就職についても大変厳しい状況の中、希望者全員の内定を頂きました。近年の卒業生の進路先としては概ね四年制大学四割五割、短大一割、専門学校三割、

就職一割となっており、難関大から就職まで幅広く対応できる「地域の期待に応える総合学科」として確立されたのではないかと考えております。詳しい進路状況は後述の資料1、2をご覧ください。

本校の卒業生は県内大学、短大から入学してから学習意欲が旺盛であると大変評価が高く、中には授業料全額免除の特待生になっている学生もいます。本校の教育は全教員できめ細やかに進めているのが特徴です。教科指導はもちろんのことですが、一年次の「インターシップ」、自分の「将来を語る「ライフプラン」、二年次の志望理由書作成や小論文指導といった「課題研究」では、生徒がこれからの社会や自分の進路についてより深く考えさせ、将来社会にどう関わり、貢献していくかを考えさせます。また考えたことを表現し、発表した内容を教員が対話や添削を通して承認することで生徒自身の自己評価を高めることにもなります。このようにして単に高校卒業後進路決定のためだけでなくその後の学び、人生をいかに生きるかといった「人生の在り方を考えさせる教育」を目

指し、今後も教職員一丸となって生徒の指導を行いたいと考えています。本年度の三年生も就職については希望者全員が昨年未満のところまで内定を頂くことができました。卒業生の皆さんが就職した企業で頑張っておられることや、部活動や勉強を通じて高校生らしく成長することができたおかげであると感謝しています。今後とも学校と企業との信頼関係を継続・発展させるべく就職指導も充実させていきたいと考えておりますので、何かお気づきの点がありましたらお知らせ下さい。この一月には昨年度より多い百三十名がセンター試験を受験します。自分の進路を切り開こうと、国公立および私立大学、短期大学、専門学校一般入試に向けて必死に勉強に励んでいます。三月二日には卒業式を迎えます。県内に就職、進学する生徒もおりますが、多くの生徒は県外に進学していきます。一度は地元を離れていきますが、これから先も進学や将来の就職のことで、雲南会の諸先輩方のお世話になることがあろうかと思えます。そのときにはどうかよろしくお願いたします。

(資料1) 進学概況

①平成22年度合格者数(延べ数)

	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	看護学校	医療福祉専門	各種専門	補習科その他	民間就職	公務員	大学校	合計
現役	51	93	20	14	16	17	38	4	17	2	1	273
過卒	(1)	(11)	(1)	0	0	0	0	0	0	(1)	0	(14)
合計	52	104	21	14	16	17	38	4	17	3	1	287
H21年度	55(4)	90(13)	25	30	19	8	21	3	11	4	2	268(17)
H20年度	58(3)	142(5)	15	22	12	7	30	4	18	8	2	318(8)

②進学関係（主な合格校） () 数字は延べ数

- 国公立大 九州大(1)、広島大(6)、岡山大(5)、島根大(14)、島根県立大(4)、鳥取大(7)、下関市立大(4)、徳島大(1)、愛媛大(1)、高知工科大(1)、香川大(2)、北九州市立大(2)、大分大(1)、三重大(1)、琉球大(1)など
- 私立大 法政大(1)、中央大(1)、東京女子大(1)、関西大(1)、立命館大(6)、関西外語大(1)、京都産業大(1)、京都女子大(3)、近畿大(5)、神戸女子大(3)、神戸学院大(1)、神戸女学院大(1)、武庫川女子大(3)、岡山理科大(4)、吉備国際大(3)、美作大(3)、広島経済大(6)、広島工業大(6)、広島修道大(6)、広島都市学園大(2)、広島文教女子大(4)、川崎医療福祉大(1)、安田女子大(5)、松山大(3)など
- 国公立短大 島根県立大短大部 {看護(3)、総合文化(10)、保育(2)}、新見公立短大 {地域福祉(2)}
倉敷市立短期大学 {服飾美術(1)}、大分県立芸術文化短大(3) など
- 私立短大 美作短大 {栄養(1)保育(4)}、鳥取短大 {保育(3)}、比治山短大 {生活(1)美術(1)} など
- 看護専門 米子医療センター附属看護学校(3)、松江総合医療専門学校(1)、浜田医療センター附属看護学校(2)
島根県立石見看護専門(2)、岡山済生会看護専門学校(1)、倉敷看護専門学校(2)
津山中央看護専門(1)、順正高等看護専門学校(3)など
- 医療系専門 YMCA米子医療福祉専門学校(2)、松江総合医療専門学校(4)、島根リハビリテーション学院(6)
島根歯科技術専門学校(5)など
- 介護福祉系専門 トリニティーカレッジ出雲(2)、島根総合福祉専門(1)など
- 技術系専門 島根職業能力開発短大(1)、島根県立東部技術校(5)、島根自動車工学専門学校(3)など
- 調理等その他 松江調理製菓製パンカレッジ(6)、松江総合ビジネスカレッジ(1)など

（資料2）就職概況

①求人状況（過去6年分）

年度	H22	H21	H20	H19	H18	H17
県内求人件数	46	47	48	103	49	61
県外求人件数	110	184	385	419	255	235
計	156	231	433	522	304	296

②職種別内定状況

職種	男	女	計
事務			0
販売	1	1	2
サービス	1	8	9
技能工	1		1
製造	1	3	4
その他		1	1
計	4	13	17

③就職内定状況

地域	男	女	計
県内	3	8	11
中国	1	4	5
関西		1	1
関東			0
その他			0
計	4	13	17

④公務員（過去5年分）（延べ数）

採用種別	H22	H21	H20	H19	H18
国家Ⅲ種					
(旧) 郵政外務					
島根県職（一般事務）				1	
島根県職（学校事務）				1	
松江市職					1
雲南市職					
雲南消防組合					
島根県警					1
自衛隊（曹候補）		2	5	3	1
自衛隊（自衛官候補生）	2	2	5	3	2
防衛大学校（理工）			1		
合計	2	4	13	7	4

⑤就職内定先

	H22年度内定企業	H21年度内定企業
県内	(株) 出雲村田製作所	(株) 出雲村田製作所
	島根イーグル株式会社	島根イーグル株式会社
	(株) 田部	(株) 島根三洋電機
	有限会社柳橋亭	北陽警備保障株式会社
	びんごや	飯石森林組合
	出雲大社	社会福祉法人きすき福祉会
	社会福祉法人きすき福祉会	(株) 共済不動産(ホテル玉泉)
	社会福祉法人 みずうみ	阪南美容室(プラージュ)
	かも福祉会(2)	
	株式会社サンキ(理美容)	
県外	山崎製パン株式会社	(株) 中電工
	(株) 中電工	(株) 田部
	(株) ワークステーション	
	後呂和裁学院	
外	アトリエファム	
	有限会社壮美	

研修旅行と雲南会

◇二年学年主任

三嶋 広

平成二十三年十月十日から

十三日にかけて二年生は東京へ三泊四日の日程で研修旅行を行いました。三月の東日本の震災の影響もあるのではないかとという心配もありましたが、例年通りの計画で実施でき、無事終えることができました。今年度も雲南会の皆様には大変お世話になりました。

研修二日目のイブニングセミナー（講演会）では、株式会社ベネッセコーポレーションに勤務しておられる佐藤一美さん（三刀屋高校四十期卒業生）に講演をお願いしたところ、快くお引き受けいただき、「生き方の選択法」という演題で講演をしていただきました。

三刀屋高校の先輩から「なりたい自分」になるために①選択肢を広げる②選択する③行動する④振り返る」という四つのステップを繰り返すことによって自信を積み重ね、なりたい自分に近づいて

いくという内容を、ご自身の中学時代から今にいたる人生の岐路に直面したときの体験談を交えながら講演していただき、生徒たちも強い刺激を受けました。生徒の感想のなかからいくつかを紹介したいと思います。

「『なりたい自分』になるための行動や実践すべきことなど多くのことを学べた。自分のこれからのために頑張ろうと思った。」「『色々な視点』で物事を見ることが、なりたい自分についてよく考えることの大切さを強く感じました。」「三刀屋高校の卒業生のかたととても親近感がわき、進路決定などが身近なものに感じることができました。」「自分がどうしたらよいか迷っている時に、今回の講演を聞くことができて少しホッとしました。」「今後のためになりました。」「とてもためになった講演でした。」「四つのステップ」はこれから進路を決める上でとても重要だと思いました。目標を達成するヒントになりました。」

三刀屋高校の卒業生の皆様が全国各地で活躍しておられる姿を直接拝見し、お話をうかがうことができたことは、

同じ三刀屋高校生として自信と誇りを持ち、また自らの可能性についても一度考えるきっかけになったと思います。これからも雲南会の後輩たちの活動を暖かく見守っていただきますよう、よろしくお願いたします。



演劇部

雲南会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。現在三刀屋高校演劇部二十二名は毎日元気に活動しております。十月の総会の折にはアトラクションとして上演の機会を設けていただき本当にありがとうございます。中でも私たちのとって貴重だったのは、会長の西村様を始め、ご覧になった皆様から忌憚のないご意見やご感想をいただいたことです。「良かったよ」「おもしろかった」という声をかけていただくことも嬉しいので

すが、「〇〇がわかりにくい」「△△をこうしたほうがいいんじゃないか」というご意見は、作品を創っていく上で私たちに明確な目標を与えてくれます。上演後、いただいたご意見をもとに生徒たちと話し合いを重ね、台本を改訂し十月の県大会、十一月の中国大会へ出場しました。おかげさまで中国地区一五〇校の代表として、今年八月上旬に富山県で開催される全国大会に、二年ぶりに出場する運びとなりました。これも卒業生の皆様のご支援があったからこそと改めて御礼申し上げます。現在は生徒たちと創っている「ヤマトノオロチ外伝」を大人版に書き換え、「異伝ヤマトノオロチ」として一般公募でお集まりいただいた四十名あまりの方々と稽古に励んでおります。参加者の中には三刀屋高校の卒業生や保護者もおられます。また、雲南市のみならず松江、出雲、大田、米子、境港など、遠くから稽古に通っておられる方もおられます。演劇を通じて人と人がつながることは、地域や学校を元気にすることに繋がっていく、そう信じております。

（顧問 亀尾佳宏）

〔現在計画中的
今後の上演予定〕

3月18日
『異伝ヤマトノオロチ』
木次町 チェリヴァホール
7月下旬
『ヤマトノオロチ外伝』

8月上旬
浜田市 石央文化ホール
8月上旬
『ヤマトノオロチ外伝』

富山県
8月中旬
『ヤマトノオロチ外伝』
大社町 うらら館
9月初旬
『異伝ヤマトノオロチ』
奈良県

吹奏楽部

「仲間の強さ」

八月に行なわれた吹奏楽コンクールではお陰様で三年振りの金賞をいただくことができました。これは部員の努力はもちろんのこと、保護者の皆様をはじめ、同窓会員の皆様等、多くの方々のご支援のお陰と感謝しています。（金賞は運動部という県のベスト8に相当します）
昨年、一昨年と同じように必死に努力し大会に望んでい

ますが、今年は何が良かったのかを述べてみたいと思います。

それは、毎日多くの時間を共有する部員という仲間同士の信頼の強さ、コミュニケーション力が大会当日に例年以上に発揮できたからではないかと考えます。毎年のことから、上に立つ三年生リーダー

はこの一年間、部をまとめること、全員の技術を向上させること、自信を失いかけている仲間を励ますことに大きな労力を使います。そしてステータス本番の前には、自分自身が緊張に押し潰されそうになる

のも省みず、部全員が最高のパフォーマンスが発揮できる

よう持っていこうとします。そんな時、今年は頼りにできる二年生が登場しました。テ

ンションが下がっているなど感じる、面白いトークや持ち前の芸で、皆の緊張感や不

要な力みを取り、あの手この手で全員の気持ちを高めてく

れました。三年生の力はもちろんのこと、そんな仲間同士

でいいムードに持っていき事ができたのは今年の大きな強みだったのかも知れません。

い、自由にアドバイスし合う。毎年キラリと光る物を持つ人が現れる。そんなところにも本校の吹奏楽部の魅力を改めて感じさせてくれた一年でした。(顧問 太田知伸)

放送部

放送部は部員五人余りの小さな部活動です。それでも、昨年の0人に比べれば、増加率∞「無限大」です。そんな彼女たちと彼がこの一年間で得たものは、全国大会への切符でした。

三刀屋高校放送部といえば、かつて全国大会常連校だったとのこと。このことについては、とくに県外の指導者講習会で『励まし』という重圧をいただきました。今回、復活を遂げることができ、肩の荷が下りた気持ちです。

八月に富山県で開催される全国高等学校総合文化祭には『はじめてのしじみ』をビデオメッセージ部門に出品します。転校生がひよんなことからシジミを食べておいしさに気付く話です。

県大会ではドラマよりもドキュメンタリーの方が高評価

を得やすい傾向にあります。そのような中で、ドラマ、しかもコメディを作るとい、自らハードルを上げることをしてしまいました。が、ふたを開けてみると、二杯あるうちの二つ目に何とか収まる

ことができました。何より、上映中は他校の部員や顧問が大笑い、上映後はどよめいた程に楽しんでもらえたことが良かったと思います。他、CM部門が2位と5位、オーディオビクチャー部門5位と、入賞を逃したものの含めても全作品が上位に収まりました。

振り返ると、部員にとって、私の指導は随分厳しかったと思っています。大会が終わったら、少しは優しくなるうかとも思いました。が、私の分まで他の先生方が優しく接してくださるので、まだ厳しいままです。そんな私を顧問として認めてくれていた彼女たちと彼に感謝する日々です。(顧問 石村武史)

サッカー部

ゴールネットを揺らした。静寂に包まれたグラウンドに三刀屋高校サッカー部員の笑顔が溢れた。部員たちは初めて味わう喜びを精一杯噛み締めているようだった。

「H23・12・10」Jリーグの創設に始まり、日本のサッカーにもリーグ戦の文化が浸透しつつあります。高校サッカーでも高円宮杯U-18サッカーリーグが年間を通じて開催されています。本校サッカー部もこのリーグの県3部(島根県ユースリーグ)に所属し、鎗を削っています。

この他の公式戦として、春の県総体、秋の選手権大会県予選、冬の県新人大大会があり参加しています。

昨年の四月には校庭の旧役場側に新たに二基の照明を付けていただき、練習する環境もより良くなっております。今年度の県新人大大会(12・10)において、トーナメント形式の公式戦では実に平成十六年の県総体以来となる七年ぶりの勝利を収めることができました。この試合も点を取って

は追いつかれる苦しい展開であり、2対2のままPK戦にまでもつれ込みました。想像できないほどのプレッシャー

を撥ね退け、キーパーがセーブし、キッカーは五人全員がシュートを成功させました。今回の勝利は、勝てない日々が続く中、粘り強く練習に励んできたチーム力の賜物だと思えます。また、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様からも応援していただき、OBの皆様からも様々な支援をしていただいたお陰だと感謝しております。ありがとうございます。(顧問 佐野祐士)

野球部

雲南会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、野球部の活動に対しまして格別のご支援をいただきまして、感謝申し上げます。

今年度も新入生が加わり総勢四十二名で活動してきました。また今年度は三刀屋高校野球部のOBでもある松林教諭が指導に加わり、充実した活動が行えたのではないかと思います。さて、今年度の戦績ですが春季大会では一回戦、出雲工業高校と対戦し2対5で敗れました。夏の選手権大会島根大会では一回戦、安来

高校と対戦し1対5で敗退しました。三年生は主将を中心にまとまり、自分たちのカラーをしっかりと出せた試合だったと思います。三年生にとっ

ては高校最後の試合となりましたが、今までやってきたことを糧にこれからの人生に生かしてくれること願っております。新チームとなり基礎・基本に返り、高い志と競争意識を持たせながら七月末の早い時期から、練習試合を組み

み秋季大会に向けて練習をしてきました。秋季大会では一回戦、情報科学高校と対戦し5対2で勝利しました。二回戦、立正大湍南高校と対戦し一時6点のリードを与えましたが終盤打線が繋がりに対戦で逆転勝ち収めました。三回戦、智翠館高校と対戦し中盤までは僅差の試合展開でしたが終盤に失点し3対10で敗れました。この大会ではベスト8という結果で終わってしまいました

が、来年に向けて自信の持てる大会になりました。この経験を来シーズンに繋げさせなければならぬと思っております。

平成二十四年は三月十日からシーズンに入ります。多くの先輩が築き上げられたもの

部活動

報告

運動部

○野球部

*春季高校野球大会

三刀屋2-15 出雲工業

*出雲地区高校野球大会

三刀屋2-14 出雲西

*全国高等学校野球選手権

島根大会 2回戦

三刀屋1-15 安来

*秋季高校野球大会一次

三刀屋7-12 情報科学

*秋季高校野球大会二次

三刀屋12-11 立正大湍南

三刀屋3-10 石見智翠館

※ベスト8

○陸上競技部

*出雲陸上競技大会

男子110mH決勝

勝部 4位

男子5000m決勝

佐藤 8位

田部 18位

*全山陰陸上競技大会

男子5000m決勝

佐藤 7位

*島根陸上競技選手権

男子5000m決勝

佐藤 29位

田部 66位

*県総体

男子砲丸投げ予選

安部 15位

*国体県予選

少年B男子3000m決勝

永井 9位

多賀 31位

少年B男子砲丸投げ決勝

安部 4位

森山 5位

*県新人大会

1年男子1000m決勝

陶山 7位

共通男子800m準決勝

田部 12位

共通男子1500m決勝

永井 12位

1年男子5000m決勝

永井 5位

多賀 26位

共通男子110mH決勝

勝部 7位

共通男子砲丸投げ決勝

安部

共通女子3000m決勝

松原 19位

共通女子走高跳決勝

若槻 5位

*浜田-益田間駅伝大会

雲南市チーム3区4.5km

永井 区間10位

総合10位

○男子ソフトテニス部

*山陰ソフトテニス選手権大会

小影・武田組

個人戦

*中国高校選手権県予選

小影・武田組

小村・松本組

霍田・恩田組

落合・小林組

団体戦

三刀屋0-3 横田

個人戦

*県総体

小影・武田組

個人戦

小村・松本組

霍田・恩田組

2回戦進出

2回戦進出

団体戦

1回戦

三刀屋2-1 大東

2回戦

三刀屋0-3 出雲北陵

共通男子砲丸投げ決勝

安部

*県選手権

個人戦

鐘撞・落合組

3回戦進出

霍田・小林組

安井・松林組

景山・杠組

若槻・庄司組

2回戦進出

*県新人戦

個人戦

霍田・小林組

安井・松林組

3回戦進出

鐘撞・落合組

景山・庄司組

2回戦進出

団体戦

三刀屋3-10 島根中央

三刀屋0-3 大社

個人戦

*山陰高校ソフトテニス選手権大会

個人戦

友塚・多賀組

3回戦進出

*中国高校選手権県予選

個人戦

案田・藤原組

友塚・多賀組

ベスト32

団体戦

1回戦

三刀屋0-3 松江東

* 県総体

個人戦

友塚・多賀組 ベスト16

難波・田本里組

案田・藤原組

3回戦進出

安部・細木組

2回戦進出

団体戦

1回戦 三刀屋0-3安来

* 国体県一次予選

友塚・多賀組

3回戦進出

田本・細木組

永尾・飯塚組

2回戦進出

* 中国高校選手権大会

個人戦

友塚・多賀組

1回戦 4-1米子北

(鳥取県)

2回戦 1-4岩国

(山口県)

* 県新人戦

個人戦

永尾・飯塚組

5回戦進出 ベスト16

案田・藤原玲組

4回戦進出 ベスト32

田本・細木組

3回戦敗退

藤原由・河角組

北尾・石飛組

2回戦敗退

団体戦

1回戦

三刀屋3-0松江高専

2回戦

三刀屋0-2大社

* 県選抜インドア選手権

案田・藤原玲組

ベスト16

○ 男子バスケットボール部

* 中国高校選手権大会県一次予選

1回戦 シード

2回戦

三刀屋113-39明誠

3回戦

三刀屋61-63出雲

* 県総体

1回戦

三刀屋120-37島根中央

2回戦

三刀屋66-60松江工業

3回戦

三刀屋80-47開屋

準決勝

三刀屋48-71松江東

* 第3位

男子ベスト5 稲田大輝

* 県選手権

1回戦

三刀屋90-62出雲西

2回戦

三刀屋53-69浜田商業

* 出雲地区新人大会

予選2回戦

三刀屋131-17出雲商業

決勝リーグ

三刀屋85-64出雲工業

三刀屋61-84出雲北陵

* 第2位

* 県新人大会

1回戦

三刀屋89-57大田

2回戦

三刀屋78-61松江北

準々決勝

三刀屋79-68浜田

準決勝

三刀屋61-98松江東

3位決定戦

三刀屋57-94松江西

* 第4位

男子ベスト5 小池 颯

○ 女子バスケットボール部

* 中国高校選手権県一次予選

2回戦

三刀屋43-71出雲商業

* 県総体

1回戦

三刀屋26-75松江南

* 県選手権

1回戦

三刀屋52-70益田翔陽

* 出雲地区新人大会

予選

三刀屋49-69大社

敗者戦

三刀屋83-51出雲西

* 県新人大会

1回戦

三刀屋67-44大田・適摩・島根中央合同チーム

2回戦

三刀屋28-86松江商業

○ 男子ソフトボール部

* 中国高校選手権県予選

三刀屋11-4安来

* 中国大会出場権獲得

1回戦

三刀屋1-3鳥取中央育英

* 県総体

決勝

三刀屋9-0安来

* 山口県・島根県全国大会出場決定戦

三刀屋6-2徳山

(鳥根代表) (山口代表)

* 11年連続全国高校総体出場

* 全日本高校選手権

1回戦

三刀屋1-3松山工業

(愛媛県)

* 中国高校ソフトボール新人大会

1回戦

三刀屋0-7御調

(広島県)

○ 女子ソフトボール部

* 中国高校選手権県予選

2回戦

三刀屋25-0大社

準決勝

三刀屋3-1浜田商業

決勝

三刀屋8-7大東

(延長8回)

* 優勝 5年ぶり17度目

中国大会出場権獲得

* 中国高校選手権

1回戦

三刀屋3-1倉吉総合産業

2回戦

三刀屋12-3下関短大付属

準決勝

三刀屋4-7中村女子

* 第3位

(山口県)

* 県総体

2回戦

三刀屋19-0松江南

準決勝

三刀屋1-5松江商業

* 県選手権

予選リーグ

三刀屋9-2松江商業

三刀屋14-0大社

順位決定リーグ

三刀屋13-0出雲商業

三刀屋8-5大東

* 第1位

*県新人大会

2回戦

三刀屋9-2明誠・安来

準決勝

三刀屋17-1浜田商業

決勝

三刀屋4-2大東

*優勝 中国新人大会

全国選抜大会出場権獲得

*中国新人大会

2回戦

三刀屋2-4鳥取城北
(鳥取県)

○男子バレーボール部

*中国高校選手権県予選

第1試合

三刀屋・出雲0-2

松江工業

第2試合

三刀屋・出雲0-2大東

*県総体

1回戦

三刀屋・出雲0-2横田

*県新人大会

第1試合

三刀屋・出雲0-2松江北

第2試合

三刀屋・出雲0-2松江西

○女子バレーボール部

*中国高校選手権県予選

予選グループ

三刀屋2-0大東

三刀屋2-1江津

三刀屋2-0松江商業

2ブロックリーグ戦

三刀屋0-2松江農林

三刀屋0-2石見智翠館

三刀屋0-2松江東

*ベスト8

*県総体

2回戦

三刀屋2-0益田翔陽

3回戦

三刀屋0-2出雲西

*県選手権

2回戦

三刀屋2-0浜田商業

3回戦

三刀屋0-2安来

○卓球部

*中国高校選手権県予選

男子団体

1回戦

三刀屋1-3江津工業

女子団体

1回戦

三刀屋3-1大杜

2回戦

三刀屋0-3大田

男子ダブルス

杉原・陰山組

3回戦進出

飯島・柳原組

原・森山組 2回戦敗退
男子シングルス

原 4回戦進出

富田、杉原、藤原孝

陰山 3回戦進出

藤原春、森山、飯島

宮崎、柳原、梅木

平井、梶岡、湯立 2回戦敗退

女子ダブルス

多賀・谷口組

2回戦敗退

女子シングルス

谷口、多賀、芝原、影山

2回戦敗退

*県総体

男子団体

1回戦

三刀屋3-1安来

2回戦

三刀屋0-3出雲北陵

女子団体

1回戦

三刀屋0-3津和野

男子ダブルス

原・森山組

3回戦進出

宮崎・藤原孝組

藤原春・平井組

飯島・杉原組

富田・梅木組

2回戦敗退

男子シングルス

森山

4回戦進出

原 3回戦進出
飯島、宮崎、柳原、梅木

富田、藤原孝、陰山

2回戦敗退

女子ダブルス

多賀・谷口組

3回戦進出

芝原・影山組

2回戦敗退

女子シングルス

多賀

3回戦進出

谷口、芝原、影山

2回戦敗退

*県選手権

男子ダブルス

今岡・大野組

藤原和・飯塚組

梶岡・陰山組

2回戦敗退

男子シングルス

石飛、湯立 2回戦敗退

女子シングルス

千原、芝原、影山、大島

2回戦敗退

*県新人大会 学校対抗予選

男子1次リーグ

三刀屋0-3江津工業

三刀屋3-0矢上

三刀屋0-3松江商業

三刀屋1-3松江農林

三刀屋0-3松江商業

三刀屋1-3松江農林

三刀屋0-3益田翔陽

三刀屋0-3矢上

男子シングルス

梶岡、藤原孝、今岡

湯立、藤原和、石飛

2回戦敗退

女子シングルス

影山、恩田 2回戦敗退

○剣道部

*中国高校選手権県予選

男子団体

1回戦

三刀屋2-3矢上

女子団体

1回戦

三刀屋1-0益田東

2回戦

三刀屋0-5出雲商業

個人戦

男子

川本 2回戦敗退

女子

渡部、藤原

2回戦敗退

*県総体

男子団体

1回戦

三刀屋3-1出雲農林

2回戦

三刀屋0-4横田

女子団体

2回戦

三刀屋1-3松江農林

個人戦

男子

川本 4回戦進出
石飛 3回戦進出

*県選手権

男子団体

1回戦

三刀屋1大田

4人残しで負け

個人戦

男子 妹尾 3回戦進出

女子 渡部、三次 3回戦進出

○県新人大会

男子団体

1回戦

三刀屋2-12 松江商業

2回戦

三刀屋0-4 出雲商業

個人戦

男子 名原、妹尾 1回戦敗退

女子 三次、渡部 1回戦敗退

女子 三次、渡部 1回戦敗退

○柔道部

*国高校選手権県予選

女子団体戦

三刀屋0-12 平田

三刀屋0-13 益田東

三刀屋2-11 松江農林

予選リーグ3位

女子個人戦

70kg級

三浦 一本-益田東

三浦 一本-平田

決勝戦

三浦 一技有 平田

※第2位

中国大会出場権獲得

57kg級

松村 一本 開星

男子個人戦

100kg超級

横山 一本 益田東

90kg級

田本 一本 開星

*県総体

男子団体戦

三刀屋0-5 出雲工業

女子団体戦

三刀屋1-2 平田

敗者復活戦

三刀屋2-11 松江農林

3位決定戦

三刀屋1-2 松江江南

※第5位

男子個人戦

66kg級 奥井 3回戦進出

※ベスト8

女子個人戦

70kg級 三浦

※第2位

○サッカー部

*島根県高等学校総合体育大会サッカー競技

三刀屋0-15 江津工業

*高校サッカー選手権大会出雲地区予選

Aリンク

三刀屋1-3 出雲西

三刀屋0-16 大社

第5代表決定トーナメント

三刀屋0-8 出雲工業

*島根県高校サッカー新人大会

三刀屋2-12 江津工業

三刀屋0-6 松江商業

*島根県ユースリーグ2011 (3部：出雲地区)

三刀屋0-13 出雲工業

三刀屋0-12 平田

三刀屋0-16 出雲西

三刀屋3-10 横田

三刀屋1-18 大社B

三刀屋1-13 出雲農林

三刀屋3-12 出雲北陵

三刀屋0-19 出雲工業

三刀屋1-16 出雲北陵

三刀屋0-14 平田

三刀屋1-15 出雲西

三刀屋3-10 横田

三刀屋0-14 大社B

三刀屋1-2 出雲農林

島根県高校総体学校対抗戦 Aグループ

男子総合 28点 (17位)

女子総合 14点 (20位)

男女総合 20点 (20位)

文化系

○書道部

*文連書道コンクール

秀作 安部、古林、嘉本

*県高校書道展

全国高総文祭富山大会推薦

古林歩美

奨励賞

日倉 石田、福馬、田原

入選 早戸、若槻、渡部

安部、嘉本

○美術部

*高文連出雲地区絵画コンクール

池内由香、高尾真奈美

細木千穂、内田健斗

加藤将太郎、内田蘭花

木澤昭平、池内亜衣

上田万利那

*島根県愛鳥週間

ポスターコンクール

特選 安食、茜 (日本野鳥の会島根代表賞)

※全国コンクールへ

奨励賞 細木千穂

*島根県明るい選挙啓発

ポスターコンクール

明るい選挙推進協議会

会長賞 加藤将太郎

※全国コンクールへ

佳作 高尾真奈美

*島根県高校美術展

入選

木澤昭平、山田拓実

上田万利那、吉川侑矢

細木千穂、高尾真奈美

池内由香、内田麗奈

白築康一、安食 茜

福岡霞美、遠藤壮一郎

景山知香

*島根県読書感想画コンクール

指定読書の部

優秀賞 内田蘭花

※全国コンクールへ

指定読書の部

優良賞 上田万利那

○写真部

*県高文連写真専門部春季

写真コンクール

特選 6点

本江、笠江、星野

柳楽、渡部、秦

入選 18点

笠江、星野、和久利

飯塚、柳楽、高尾真奈美

船木、佐伯、渡部、和泉

上田、高尾真由子、富田

*県高文連写真専門部秋季

写真コンクール

特選 4点

佐伯、船木、渡部、富田

入選 14点

飯塚、高尾真奈美、柳楽

船木、佐藤、高尾真由子

和泉、富田、上田



* 県高校写真展

3年生 4席 本江
奨励賞 2点 佐伯、秦
入選 6点
星野、笠江、柳楽、渡部
船木、秦、富田

○ 文芸部

* 高文連文芸専門部県大会
優良作 文芸誌「ひより」

○ 放送部

* 県高校放送コンテスト
東部地区大会
朗読部門 8名出場
福田、土山、中村、井谷、
福田、飯塚、原、佐藤

* 県高校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門
「追憶の風」 第4位
創作テレビドラマ部門
「10円玉のゆくえ」
第8位

研究発表部門

「霧のかかった映像を合
成で作る」 第3位

* 高校総合文化祭放送部門
東部地区大会

アナウンス部門
1名出場
原

朗読部門

3名出場
井谷、佐藤、土山

* 高校総合文化祭放送部門
県大会

ビデオメッセージ部門
「はじめてのしじみ」
第2位

* 全国高総文祭富山大会出
場権獲得
オーディオピクチャー部門
「坂根の名水」 第5位
CM部門
「神々の国島根」 第2位
「島根唱歌」 第5位

○ 演劇部

* 高校文化フェスティバル
* 県高文連出雲・石見地区大
会
「ヤマタノオロチ外伝」
優秀賞
* 県高校演劇発表大会
「ヤマタノオロチ外伝」
最優秀賞

* 中国大会出場権獲得
* 中国地区高校演劇発表大会
「ヤマタノオロチ外伝」
最優秀賞

* 全国高総文祭富山大会
出場権獲得
* キラキラ雲南
演劇フェスティバル

○ 吹奏楽部

* 高出雲地区吹奏楽祭
* 雲南バンドフェスティバル

* 全日本吹奏楽コンクール
県大会

高等学校Aの部 金賞
* アンサンブルコンテスト
県大会
サクソフォン四重奏 金賞
錦織成、陶山
高田、佐和田
木管五重奏 金賞
藤原菜、村上、錦織優
内田、若月
金管八重奏 銀賞
藤原恵、中林、影山
泉、白築、伊藤
渡部、長谷川

○ 箏曲部

* 高文連日本音楽コンクール
* 高文連成果発表会

○ 音楽

* 県高校音楽コンクール
金管楽器の部
藤原恵理子 銀賞
藤原 美佳 銀賞
白築美菜子 銅賞
木管楽器の部
品川 夢花 銅賞
錦織 優香 銀賞

頓原分校跡
記念碑建立式に
参加して

雲南会事務局

渡部 一 哉

平成二十三年十一月二十二日、快晴の下、来賓に山崎飯南町長をお迎えし、除幕式が執り行われました。同分校卒業生二十九名、西村雲南会長が見守る中、戸谷熙頓原分校卒業生会長と杉谷校長により記念碑が姿を現したときには、会場から大きな拍手が起りました。

那須繁弘同幹事長のお話によると、平成十五年に記念碑建立の運動が始まったが、建設予定地の使用交渉等が難航し、ここまで建立が延びてしまったということでした。恐らく戸谷氏、那須氏は苦労の連続ではなかったかと推察されます。大変お疲れ様でした。

最後に、主碑と副碑に刻まれた碑文、記念碑の所在地を紹介しておきます。

・主碑：人を育む

・副碑：高等学校の必要性を懇願していた頓原村は、昭和二十二年学制改革を好機と捉えて、島根県を動かし、昭



島根県立三島高等学校頓原分校跡記念碑建立
除幕式及び同視察・雲南会頓原分校支部総会



和二十三年四月三万屋高等学
校頓原分校の設置を実現した。
以来、昭和三十八年まで、十
二期百七十五名の卒業生を輩
出し、頓原町はもとより、各
方面のリーダーとして活躍し
た。
・記念碑設置場所：国道54号
線頓原バス停北側（頓原分校
旧校舍昇降口付近）

東京支部だより

雲南会東京支部の集い

二〇一〇一〇 を開催しました。

今年、三月十一日、東日本大震災があり、関東以北の雲南会の方を始め、多くの方が大変な目にあつた一年でした。震災にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。雲南会も開催を苦慮しましたが、「頑張ろう日本」をキャッチフレーズに、第五十五回目の総会及び懇親会が、平成二十三年十一月十二日、神田の「日本橋亭」で盛大に開催されました。

今年、四十名の出席で、島年県より雲南会の西村会長をはじめ、母校の杉谷校長先生、渡部先生、金山先生のご出席を頂き、ふるさとの話や懐かしい思い出を肴に、料理とお酒を堪能して楽しい一日になりました。

新 しい東京支部長に
岩佐壮四郎氏(高校十七期)

新任

総会は、天沼幹事長の進行で、梅沢支部長の挨拶から始まり、雲南会西村会長の祝辞

を頂いた後、杉谷校長先生より母校の近況報告を聞かせて頂き、後輩の頑張っている様子を聞き、非常に誇らしく頼もしく感じました。

議事では、はじめに平成二十二年年度の会計報告が白築会計幹事よりあり、松下会計監査の監査報告の後、出席者の拍手で承認しました。

そして、永年支部長として会を引っ張って頂いた梅沢支部長の後任として、新しい東京支部長に十七期の岩佐壮四郎氏が選任されました。また、会計監査に小林千鶴子氏(高校十七期) 斎藤博氏(高校十九期) がそれぞれ選任されました。

その後、支部長の挨拶があり、新しい役員の紹介があり、会則の一部変更を出席者の拍手で承認しました。

最後に、永年の功労に出席者全員で梅沢前支部長に感謝して、議事は無事終了しました。

賑 やかな談笑の弾む
懇親会

総会が無事に終了したあと、全員で記念写真を撮影し、懇親会に入りました。

懇親会は、引き続き天沼幹事長の司会で、山根輝夫氏

(高校二期) の乾杯の音頭でスタートしました。宴会では、久しぶりに会った同窓の仲間と語り、途中、渡部先生や金山先生にスピーチを頂き、あつという間に時間が過ぎていきました。

また、恒例のふるさと福引大会は、藤原幹事(高校二十八期)と川上幹事(高校二十八期)の進行で始まりました。景品の中には母校から送って頂いたお土産もあり、全員がなんらかのお土産を手にしたようです。

最後に、陶山和良氏(高校六期)の音頭で万歳三唱し盛況の中、懇親会を終了しました。



雲南会東京支部

大阪支部だより

「絆」雲南会支部総会

第二十三期卒

城角直司

卒業以来四十年の歳月が流れるも、ついで再会すること

の無い同窓生も少なくありません。仙台に在住している筈で大震災の被害に遇つたであろう同窓生もその一人。今頃如何にと案じつつ、様々な「絆」に思いを至した昨年でした。

大阪支部総会は去る九月十一日、「大阪弥生会館」於て開催しました。「三刀屋高校の絆」の基に総勢四十名が集い、二次会のカラオケ大会も含めて、先輩後輩入り乱れて、この日はかりは、思い切りズーザー弁で盛り上げてしましました。

同時にこの日は、三刀屋高校野球部OB会や私達二十三期卒業生の近畿地区同窓会も併せて開催しました。我が懐かしの同期は十二名が集い、

なかなか別れ難く遂に四次会迄盛り上げてしまいました。それぞれに事情も抱え、容易に帰省して同窓との再会も叶わぬ人も、支部の集いを機に「同窓の絆」の貴さを感じとって頂けたらと思わずにはいられません。錦織支部長を始め各役員の方々の永年に亘る真摯なご尽力に対し、改めて敬意を表し、自らも些かなりとお役に立ちたく思います。



平成23年度

雲南会大阪支部総会

大阪弥生会館にて

平成22年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成22年4月～平成23年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増減△	摘 要
入 会 金	2,552,000	2,541,050	10,950	年会費 1年 5,000円、2年 4,500円、3年 4,500円
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高22期、高32期、高42期
特 別 補 助 金	800,000	800,000	0	特別会計より
雑 収 入	1,000	86	914	預金利息
生 徒 返 金	0	△ 37,800	△ 37,800	進路変更生徒への会費返金 7名
合 計	3,803,000	3,753,336	△ 25,936	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000	0	450,000	450,000	0	高31期主催
支 部 総 会 費	240,000	0	240,000	180,000	60,000	東京、大阪、日登、木次、三刀屋、一宮
活 動 費	750,000	0	750,000	629,196	120,804	同窓会会報発送費等
印 刷 費	300,000	0	300,000	138,180	161,820	同窓会会報印刷等
役 員 会 費	200,000	0	200,000	183,950	16,050	役員会会議費等
同窓会名簿管理費	50,000	0	50,000	1,936	48,064	アドレスブック等
卒 業 記 念 品	110,000	0	110,000	105,848	4,152	証書入れケース190本
異動職員餞別金等	30,000	18,000	48,000	48,000	0	餞別
慶 弔 見 舞 金	40,000	0	40,000	22,887	17,113	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	0	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	50,000	0	50,000	26,760	23,240	切手、はがき代、その他送料
旅 費	730,000	36,679	766,679	766,679	0	総会、支部総会出席等
事 務 費	50,000	0	50,000	16,993	33,007	封筒・事務用品
雑 費	110,000	0	110,000	93,272	16,728	新聞広告費等
予 備 費	393,000	△ 54,679	338,321	0	338,321	
合 計	3,803,000	0	3,803,000	2,963,701	839,299	

差引残高：3,753,336円－2,963,701円＝789,635円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成23年7月19日

 監事 金山新忠
 監事 俣織建郎

平成23年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
入 会 金	2,791,500	2,552,000	239,500	1年5,000円×190人、2年5,000円×178人、3年5,500円×173人
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高23期、高33期、高43期
特 別 補 助 金	0	800,000	△ 800,000	特別会計より
雑 収 入	500	1,000	△ 500	預金利息
合 計	3,242,000	3,803,000	△ 561,000	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高32期
支 部 総 会 費	240,000	240,000	0	大阪、東京、木次、三刀屋ほか
活 動 費	680,000	750,000	△ 70,000	同窓会会報発送業務費等
印 刷 費	170,000	300,000	△ 130,000	同窓会会報印刷費、その他印刷
役 員 会 費	200,000	200,000	0	各種役員会等
同窓会名簿管理費	20,000	50,000	△ 30,000	同窓会名簿データ印刷等
卒 業 記 念 品	97,000	110,000	△ 13,000	証書入れケース 173本
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶 弔 見 舞 金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	50,000	△ 20,000	郵券代ほか
旅 費	770,000	730,000	40,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	25,000	50,000	△ 25,000	事務費用品
雑 費	110,000	110,000	0	新聞広告等
予 備 費	80,000	393,000	△ 313,000	記念館資料整備
合 計	3,242,000	3,803,000	△ 561,000	